第3134回 例会記録
２０１６年５月30日

甲府ロータリークラブ会報

甲府市相生２丁目２－17
電話　055－237－5475
www.kofu-rotary.gr.jp
info@kofu-rotary.gr.jp

世界へのプレゼントになろう

2015－'16年度 甲府RC会長テーマ「足元から」

会　長　進藤哲雄
副会長　由井久夫
副会長　細田　俊
幹　事　山口高明

６月６日 第3135回 例会プログラム

●今月のお慶び
●HFに御礼と交換学生にお小遣いの贈呈
●ＲＩ国際大会報告
●会員卓話「相続税と贈与に関して」
　三神　治彦 会員（三神会計事務所 所長）

本日のメニュー
煮カツ丼
豆腐サラダ
ほうれん草胡麻和え
フルーツ
他

次回例会
６月13日（月）
●富山RC式典参加報告
●講師卓話
「中心市街地活性化」について
甲府市 企画部企画総室 地域振興課
まちづくり係　係長　金子　武仁 様

甲府ＲＣ携帯サイト
www.kofu-rotary.gr.jp

Rotary Song　君が代・奉仕の理想　ソングリーダー　新海照男

会長挨拶

副会長　由井久夫



夏の様な暑い日が続いた５月も、あと２日で６月に成りますが本当に梅雨が来るのか心配になる今日この頃です。

本日は、5／28(土)から野口ガバナー、進藤会長、山口幹事他、甲府RCから27名の方々がソウルでのRI国際大会に出席していますので、私が会長代行挨拶を致します。

ソウルでは、5／28のウェルカムパーティー・拡大甲府ナイトから始まり、5／29の国際大会本会議、分科会などに出席し5／31帰国の予定です。

本日のゲストビジターを紹介いたします。講師卓話を頂く、渡井様と一之瀬様のお二人です。

又、本日は３名の退会者のご挨拶があります。

・ＵＦＪモルガンスタンレー証券の池谷会員
・山梨交通の小尾会員
・山梨貸切自動車の平井会員

以上３名の方々です、後ほどご挨拶を頂きます。

本日の講師卓話は、興石会員交流・姉妹クラブ委員長の担当で山梨県 県土整備部課長の渡井　攻(ワタイ オサム)様から「熊本地震の被災状況と本県における地震対策の取組みについて」お話を頂きます。

「天災は忘れたころにやってくる」物理学者で文学者の寺田寅彦が言ったとされますが最近は「天災は忘れないうちにやってくる」とする専門家も出てきています。いずれにしても日ごろからの用心が重要ですよ！という事だと思います、今日の機会に渡井様のお話をしっかりお聞きしたいと思いますので宜しくお願いします。

幹事報告

１）他クラブ例会変更のお知らせはありません。
２）先週の例会で退会の挨拶をされましたSAA 有井　昇元会員の後任を、副SAAの林　邦久会員にお願い致しました。皆様、ご承知おきください。
３）６月６日（月）に開催される第16回理事会に上程案件をお持ちの理事役員の皆様は、至急ご提出を頂けますようお願いいたします。
４）６月13日（月）に開催される本年度「最終クラブ協議会」への報告資料のご提出も、６月１日（水）までに私までご提出いただけます様、お願いいたします。
５）ロータリーレート　５月　１ドル＝110円

出席報告

（敬称略）

（会員数　１１２名）

	出席者数	出席率
本日の出席	73/103	７０.８７％
前々回の修正	86/102	８４.３１％

（出席免除会員18名）

〔本日の欠席者〕
天野、雨宮(哲)、淡路、磯部、上原(重)、上原(勇)、梅本、大森、小俣、川上、熊倉、小林(日)、五味、後藤、佐々木、鈴木、清水(元)、進藤、髙野、田中(司)、丹沢、鶴田、中村、野口、林、松村(秀)、松村(昌)、宮城、山口、山寺
以上　30名

〔出席免除会員の本日出席者〕
新海(照)、新海(治)、田中(好)、深澤、古屋、丸茂(紀)、宮城、山本(孝)、横山

〔他ＲＣに出席及びメークアップ会員名〕
５月29日　ＲＩ国際大会
野口、上原(勇)、髙野、鶴田、進藤、山口、淡路、梅本、大森、長田、、川上、五味、鈴木、清水(元)、田中(司)、内藤(悦)、松村(秀)、宮城、山寺
５月29日　沼津西ＲＣ 周年記念例会　上原(重)

■本日のゲスト
講師卓話　　渡井　攻(わたい おさむ)様

■退会挨拶
池谷　壮史 会員（三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱甲府支店 支店長）
小尾　博之 会員（山梨交通㈱ 常務取締役総務部長）
平井　武彦 会員（山梨貸切自動車㈱）

■雑誌紹介
雑誌・対外広報小委員会　清水　修一 会員

■講師卓話

「熊本地震の被災状況と本県における地震対策の取組みについて」

山梨県県土整備部建築住宅課課長　渡井　　攻 様



本日は貴重な時間をいただき、ありがとうございます。

それでは、４月14日に発生した熊本地震についてご説明します。

県では、国からの要請に基づき、４月23日からの６日間、県職員14名と甲府市職員２名の計16名の応急危険度判定士を熊本市へ派遣しました。

『応急危険度判定』は、大地震により被災した建築物を調査し、その後に発生する余震などによる倒壊の危険性を判定することにより、二次的災害を防止することを目的としたものであり、判定後は、赤色の『危険』、黄色の『要注意』、緑色の『調査済』の色紙を建物に貼付します。

今回の判定エリアは、熊本市の東側で益城町との境界付近でしたが、全体の５割が「危険」と判定された益城町とは異なり、危険判定は１割程度でした。しかし、数百m離れると異なる様相が見受けられ、断層型地震の特徴的な被災状況が窺えました。

また、大量の土で固定した瓦屋根の木造住宅の倒壊だけでなく、比較的新しい木造住宅の倒壊も見受けられ、道路を塞ぐ建物も見受けられたとのことでした。

建築基準法では、震度７クラスの揺れを連続して受けることは想定していないので、今回の地震被害の分析により、耐震基準の見直しが行われるかもしれませんが、いずれにしても耐震化の重要性は変わりません。

次に、県で実施している耐震関係の支援制度についてご説明します。

県では、平成15年度に無料耐震診断の制度を創設し、現在では、耐震診断から耐震改修まで一環した支援制度を創設しています。

特に、今年度から３年間は、木造住宅の耐震促進のために、耐震改修について補助金限度額の60万円引き上げや未就学児のいる子育て世帯への配慮などを行うこととしました。

また、避難路沿いの建物についても、耐震化を円滑に進めるために各種の支援制度を創設しておりますので、是非ともご活用願います。

最後に、熊本地震では、49名の方がお亡くなりになり、建物被害も10万棟を越えましたが、阪神・淡路大震災と同じように、発生時期時間が寒い時期の明け方だったら、更に被災者は拡大したことでしょう。

大地震は、いつ起きてもおかしくありません。

地震で人が亡くなるのではなく、殆どの方は、老朽化した家の倒壊や家具による圧死、場合によったら火災による延焼等で人が亡くなるのです。

無料の耐震診断を進める、家具を固定する、重いものを上に置かない、更には、避難路を確保するために、特に沿道の建築物については耐震化が必要であることなど、家族や地域の方々に是非お話をして頂き、地域として地震防災対策が進むようご協力をお願いします。

本日は皆様の貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

（敬称略）

ニコニコボックスご利用のかたがた

甲府ＲＣ

古屋　俊仁　私の叙勲に際しましては、ご厚情をありがとうございました。

小尾　博之　大変お世話になりました。

平井　武彦　退会させていただく事になりました。大変お世話になりました。

由井　久夫　進藤会長の代行として挨拶をさせて頂きます。渡井様、講師卓話よろしく。三名の退会者の方お疲れ様でした。

田淵　幸弘　平井様、小尾様お世話になりました。

ご栄転をされる、池谷壮史会員、小尾博之会員、平井武彦会員三名の皆さんには大変お世話になり、有難う御座いました！今後のご活躍をお祈り申し上げます。

内海　公博、飯野奈津子、中島　一規、山本　孝夫、井上　俊和、内藤　民部、篠原　義明、土屋　和巳、杉本　裕昭、加藤　千典、加藤　吉一、木田　茂樹、谷口　文一、阿閉　正強、丸茂　紀彦、高嶋　英一、髙村　昇二、清水　修一、雨宮　俊彦、阪口　　仁、安藤　耕治、小松崎五郎、柿原　正明、岡本　　啓

講師卓話：

テーマ「熊本地震の被災状況と本県における地震対策の取組みについて」

講師：山梨県県土整備部建築住宅課課長

渡井　攻(わたい おさむ)様、宜しくお願い致します。

遠山　　薫、野原　英男、後藤　光利、輿石　丈夫、柴山　　聡、平嶋　育造、坂本　　力、成澤　暢彦、楳窪　一浩

本日ニコニコ金額	147口	147,000円
ポリオプラス資金へ繰入		14,700円
ポリオ資金累計額		200,600円

（会報委員　丸茂正樹）